(石谷事業所) 工賃向上計画 (令和3年～令和5年)

１．事業所の概要

法　人　名	社会福祉法人　清穂会	法人代表者名	理事長　神谷　健
事業所名	石谷事業所	施　設　長　名	神谷　健
サービス種類等 (該当にチェック)	□就労継続支援A型事業所 ■就労継続支援B型事業所 □生活介護事業所 □地域活動支援センター		
住　　所	【事業所】 ・〒501-1106　岐阜市石谷字池田1330番地1 ・TEL：058-235-6080　　・FAX：058-235-6078 ・E-mail：m-nishio@seisuikai.or.jp ・担当者名：西尾　昌樹 【法人本部】 ・〒501－1106　岐阜市石谷字池田1330番地1 ・TEL：058-235-6077　　・FAX：058-235-6080 ・E-mail：sale@seisuikai.or.jp ・担当者名：山田　芳子		
定　員　数 (令和3年4月)	30名	現　員　数 (令和3年4月)	33名
施設の特徴	・当事業所は、精神障害者社会復帰施設の一環である、精神障害者福祉工場として設立されました。現状登録者の6割が精神に疾患をお持ちの方です。障害特性に配慮した作業環境において、ウエスたたみ及び金属検知器を使った検品作業等も行っています。 ・農福連携推進事業としてバナナ栽培にも着手し、新たな作業を提供しています。		
主要作業の内容	(自主製品の場合、具体的な品目まで記載) ・洗浄済みのリサイクルウエスを汚れ、穴等各々のアイテムの基準に則り、選別を行い、たたみ仕上げ・袋詰め及び金属検知器使用による、ウエスに付着した金属片の発見、除去等を行います。 ・バナナ栽培では、施肥及び灌水、虫取り作業。バナナの出荷準備作業、箱詰めを行っています。 ・バナナの加工品販売用バナナリキュールのラベル張り、箱詰め等も行っています。		

２．工賃の現状と向上目標

（１）工賃の支払方法

利用者への支払方法	■月額　　□時間額　　□その他（　　）
支払額の積算方法	○支給額の考え方、区分方法： ・売上高から生産に関する必要経費を引き、総労働時間で割り、単価を算出し、労働時間を掛けて支払い。 ○ボーナス等一時金の有無及び積算方法： ・無し

（２）工賃の支給実績と向上目標

目標工賃の区分	■月額　　□時間額

※目標とする工賃は、月額により算出する方法を基本とするが、時間額により算出した工賃を目標とすることも可能。

	令和2年度 （実績）	令和3年度 （目標）	令和4年度 （目標）	平成5年度 （目標）
年間売上高（円）	23,454,865	23,680,000	23,910,000	24,140,000
工賃支払総額（円）【A】	8,626,925	8,710,000	8,790,000	8,877,000
工賃支払対象延べ人数※【B】	356	360	360	360
平均工賃（円）【A／B】	25,029	25,300	25,500	25,700

※目標工賃を「月額」とする場合

対象年度の<u>各月の工賃支払対象者の総数</u>を記載する。

（例：50人定員で、工賃支払対象者が、4月45人、5月50人、6月48人、7月50人、8月50人、9月50人、10月49人、11月50人、12月45人、1月47人、2月50人、3月50人の場合は、45+50+48+50+50+50+49+50+45+47+50+50＝584人となる。）

※目標工賃を「時間額」とする場合

対象年度の各日の各時間の工賃支払対象者の延べ人数を算出し、全ての日の延べ人数の合計を記載する。

（例：50人定員で、ある1日の工賃支払対象者延べ人数が225人、次の日は230人・・・年間245日開所の全ての日を合計すると55,125人となる。）

３．工賃向上への取組方針

<table>
<tr><td colspan="2">これまでの目標工賃の達成状況に対する評価・課題・分析</td><td>（これまでの取組・工夫・強み）
・利用者の得意、不得意を探り得意部分を伸ばしていく。
・体調に応じながら作業提供を行っていく事で、作業意欲の維持を図る。
（課題の分析）
・利用者の理解度の確認を行いながら、個々での指導、育成を行っていく。</td></tr>
<tr><td colspan="2">取　組　方　針</td><td>・顧客のニーズに応じ、新規作業のトライアル及び利用者の持つ能力に応じ、生産体制の確立を行い、より効率的かつ幅広く利用者が従事出来る為の作業方法の検討を行っていく。
・バナナ栽培事業では、6 次化商品への取り組みを行いながら、幅広い作業を提供していく。また、企業と連携し商品開発、販売ルートの拡大を行う。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">各年度に取り組む具体的な方　策</td><td>令和3年度</td><td>・作業提供を行っていく中で、利用者個々の理解度を確認していく。
・障害の特性を踏まえながら作業量の向上を図る。</td></tr>
<tr><td>令和4年度</td><td>・個々の利用者の強みを見出し伸ばしていく。
・安定した商品品質の維持に取り組む。</td></tr>
<tr><td>令和5年度</td><td>・作業工程の見直し、作業効率の向上を図る。
・商品開発、商品販売ルートの拡大に取り組み新たな作業を提供していく。</td></tr>
</table>

４．主要作業の現状と今後の取組

作業の区分	(下請・内職、自主製品、その他)		
具体的作業名	工業用ウエスのたたみ作業、ウエスの洗濯作業、バナナ栽培。		
作業内容、特徴	(作業内容) ・クリーニングされた工業用ウエスを 100 枚毎にたたみ、結束して出荷する。 ・反物より裁断したウエスを糊落としの洗濯作業を行う。 ・ビニールハウス内での施肥及び灌水、虫取り作業。 ・バナナ選別。袋詰め。 ・バナナリキュールのラベル張り、箱詰め。 (特徴) ・10 枚を1束とし、10 段重ねて 100 枚とする。 ・顧客の要望に応じて、穴、汚れ毎に規定の選別を行う。 ・収穫したバナナを A 品、B 品に選別、出荷準備を行う。 ・バナナリキュールの出荷準備を行う。		
年間売上額	23,454,865 円	従事する利用者人数	30 人
現状分析 ・ 課　題	(これまでの取組・工夫・強み) 新たなサービス提供の一環として、バナナ栽培事業を開始し、6次化商品を含め幅広い販路の拡大を行っていく。 (課題の分析) ・障害の特性に応じて、作業及び指導の実施を行う。 ・個別作業、作業量等、状況に応じながら対応していく。		
課題を踏まえた 目 標 ・ 方 針	(課題を踏まえて令和5年度までに目指す姿) ・利用者への徹底した指導、育成による品質の安定化を目指して行く。 ・個々の現状に応じて通所日数や作業量を明確化し目標を設定する。		
目 標 達 成 に 向 け た 方 針 ・ 具 体 的 取 組	(令和3年度到達目標) ・作業手順等、利用者個々の理解度の確認の徹底。 (方針・具体的な取組) ・利用者個々の目標の設定、実施。		
	(令和4年度到達目標) ・安定した品質の確保。 (方針・具体的な取組) ・利用者の目標数の確認及び振り返り、目標の見直し等を行う。		
	(令和5年度到達目標) ・利用者個々の能力開発。個別指導。 (方針・具体的な取組) ・利用者個々の得意分野を強化し、新たな目標を設定していく。		

※主要作業について、表を増やして記載

【関係資料】

・施設のパンフレット・自主製品の紹介資料

・工賃向上計画の内容を説明する補足資料（収支決算書等、必要に応じて添付）